

中期目標期間（平成 25 年度～平成 30 年度）及び平成 30 年度
業務実績評価に係る論点整理（案）

1 基本的な考え方

中期目標期間評価実施要領及び年度評価実施要領における評価の方針及び第 2 回公立大学部会等における各委員の意見を踏まえ、次のとおり整理する。

2 評価について

(1) 平成 30 年度業務実績評価

平成 30 年度業務実績報告書の自己点検・評価を踏まえ、業務の実施状況を確認したところ、全 109 項目のうち A 評価（達成度 9 割以上）以上となった項目は 108 項目（99.1%）となっており、全体としてはおおむね順調に進んでいるものと認められる。

・評価委員会の主な意見

項 目	発言要旨及び考え方
医師国家試験について	平成 28 年度及び 29 年度において、医師の国家試験合格率の数値指標が未達成であったが、対策を講じ高い合格率で目標数値を達成したことは評価できる。
附属病院の収支改善について	中期計画の収支改善の数値指標は未達成だが、収支改善を達成するために設定した年度計画が達成されているというのは不自然であり、もっと、収支改善を達成するための具体的な計画が必要だったのではないかと指摘する。

・指摘事項について

上記意見を踏まえ指摘事項については下記のとおりとする。

中期計画の数値指標が未達成であるにもかかわらず、それに関する年度計画が達成されている事例が見られた。

このため、中期計画の数値指標に係る年度計画については、当該数値指標の進捗管理に関する取組を盛り込むことなどにより、当該数値指標の達成に向けた計画を設定する必要がある。

(2) 中期目標期間（平成 25 年度～平成 30 年度）業務実績評価

中期目標期間業務実績報告書の自己点検・評価を踏まえ、業務の実施状況を確認したところ、中期計画全 57 項目のうち、4 評価以上となった項目は 54 項目（94.7%）となっており、年度計画に基づく毎年の取組により中期計画がほぼ計画どおり実施されたと評価できる。

また、中期目標については、全 31 項目のうち、iv 評価以上となった項目は 28 項目（90.3%）となっており、全体としては達成状況が良好であると認められる。

・「自己点検・評価」の妥当性の検証

No.	自己評価	部会評価	論点整理の内容
中期計画 31	4	3	自ら設定した数値指標である附属病院の収支改善の目標が達成できていないため、中期計画及び中期目標を十分に実施しているとは認められない。
中期目標 11	iv	iii	
中期計画 41	5	4	国際的な交流連携・協力活動の推進について、平成 30 年度の海外大学等との交流拡大の取組は評価できるが、第 2 期全体を通して、中期計画を十分に実施しているものの、上回って実施しているとは認められない。

・ 評価委員会の主な意見

項 目	発言要旨及び考え方
神経再生医療について	これまでの研究が成果を挙げている具体的な事例であり、大変評価できる。
附属病院の収支改善について	医薬材料費等、支出の大きなウェイトを占める費用の節約や見直しなど、支出面でのより一層の工夫が望まれる。
国際的な交流連携・協力活動の推進について	短期留学助成事業やサバティカル制度の活用等により、積極的に教職員を海外に出せる体制づくりを進めてはどうか。
コンプライアンスの遵守について	公立大学法人としての社会的責任を積極的に果たし、その活動を適正かつ持続的に行っていくため、第3期においても大学における法令遵守の徹底に取り組まれることを期待する。
情報発信について	ホームページの充実は評価できる。今後も積極的に情報を発信し、地域に根差した信頼される大学として機能されることを希望する。

・ 所見について

上記意見等を踏まえ所見については下記のとおりとする。

- ・ 脊髄損傷（急性期）の再生医療については、これまでの研究成果が実を結び、世界に先駆けて北海道において実用化されることとなり、研究成果の社会への還元を行ったことは高く評価できる。
第3期中期計画においても、幅広い臨床応用に向けた研究を推進していくこととしており、研究のさらなる広がりを期待する。
- ・ 地域においては、依然として厳しい医師不足の状況にあるなか、本道の地域医療提供体制の確保に向け積極的な役割を果たすため、道、関係機関等との連携を強め、地域の公的医療機関等への医師、助産師等の派遣機能を強化するとともに、地域における医師確保に向けた取組を引き続き行い、地域医療の充実に貢献することを期待する。
- ・ 第2期において、改善努力を続けてきたものの、法人自ら設定した附属病院の収支改善の数値指標が目標達成には至らなかったことから、今後、医薬材料費等、支出の大きなウェイトを占める費用の節約や見直しなど、支出面でのより一層の工夫が望まれる。
- ・ ユーザーが利用しやすいホームページを構築し、積極的に情報発信を行っていることは高く評価でき、第3期においても、より地域に根差した信頼される大学となるよう積極的に情報発信を行うよう期待する。